

別紙⑥ 岡山繊維産地協議会 金融若手交流会

日時：令和 6 年 9 月 18 日（水曜日）17 時 45 分～19 時 00 分

会場：倉敷ファッションセンター1F 会議室（岡山県倉敷市児島駅前 1 丁目 46 番地）

議事要旨：

第 1 回の事前配布ワークシート『児島にあったらいいな』に出された意見について、あらためて個人単位で一つを選び、選択者によるグループワークを実施

（第 1 回に出された意見）

- ・温泉： 宿泊客が増える
- ・水族館： 海が近く、瀬戸内海をアピールできる
- ・1 日過ごせる場所： 勤務以外でも休憩できる場所
- ・居酒屋： 選択肢が少ない、閉店時間が早い
- ・取引先と集まることができるイベント； 各銀行での P R でバックアップ
- ・道の駅： 児島に足を運ぶことができるような場所
- ・ホテル： 観光客が宿泊しやすい価格帯、インスタ映え

グループワークで出された意見

（温泉）

- ・児島にいる時間が増え、他県から人が来るきっかけとなる
付近で食事をすることで児島エリアの飲食店の活性化に繋がる
- ・競艇場とコラボ、ジーンズとコラボ（温泉の館内着としてジーンズを着用）

（取引先ごとが集まるイベント【ファッションショー】）

- ・児島エリアの課題として、人材不足、金融機関の結び付きが弱い、知名度不足がある
- ・学生とのコラボ、ZOOM・インスタグラム配信、インフルエンサー誕生、により繊維（ジーンズ、学生服、ワーク服）の知名度向上に繋がる

（道の駅）

- ・人の繋がりが不足、経済効果が弱い、観光スポットの不足
- ・観光客・地元の人が増えることでお金を地元にとす機会が増える
雇用が生まれ活き活きする街になる。継続的に働き手が増える好循環が生まれる

（ホテル【コンセプトホテル】）

- ・観光客が児島に滞在する時間が増える
ホテルのコンセプトやその土地ならではのおもてなし、地域の歴史や地域と関わる機会が増える

児島ならではの『ストーリー』を発信することで、多くの人を惹きつけ、長く愛される街となる

- ・児島の特産物の良さを知ってもらう。人が集まることで雇用が増え、地域活性化に繋がる

【まとめ】若手交流会により、金融検討会議の議論テーマ候補として4つの案が固まった。これらを基に、金融検討会議にて取り組みテーマを議論・決定することとした。また、岡山繊維産地協議会の全体会議開催日が11／14に決定したため、全体会議での発表内容・発表者について次回金融検討会議で決定することとした。

次回のスケジュール

- ・2024年10月17日 金融検討会議（責任者＋若手）
- ・2024年11月14日 岡山繊維産地協議会（本会議）

以上

お問い合わせ先

岡山県産業労働部産業振興課地域産業班

電話：086-226-7352 FAX：086-224-2165

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki43/>

一般社団法人倉敷ファッションセンター

電話：086-474-6800 FAX：086-474-6801

<https://www.k-fc.com/>